

前立腺肥大症に対する新たな低侵襲手術 神奈川県・県西地域初（2市8町）

経尿道的前立腺吊上術（ウロリフト）

当院では、**神奈川県・県西地域初（2市8町）**となる「経尿道的前立腺吊り上げ術（ウロリフト）」を導入しました。

前立腺肥大症に伴う排尿障害に適應される「経尿道的前立腺吊上術（以下ウロリフト）」を2022年10月から開始しました。2022年4月1日から医療保険が適用となった、**排尿障害に対する新しい低侵襲治療**です。

本治療は、2013年にFDA：米国食品医薬品局で認可され、**欧米では30万人以上の患者さんが治療を受け**、安全性と効果が実証されています。米国泌尿器科学会、欧州泌尿器科学会のガイドラインでは前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺吊上術が推奨されています。

この手術は肥大した前立腺組織を持ち上げて固定し、インプラントを永久的に留置して尿道を拡張する方法です。**前立腺組織を切除することなく低侵襲で行うことが可能**です。

治療の流れ

前立腺の中に**インプラント**を埋め込み、**尿の通りを開通**させ、排尿できるようにします。



1 閉塞した尿道にデリバリーシステムを挿入し、肥大した前立腺にアプローチします。



2 デリバリーシステムから出る小さな針を通して、小型のインプラントが前立腺の中に永久的に留置されます。肥大した前立腺組織を持ち上げて固定することで、尿道を拡張します。



3 閉塞した尿道がシステムによって開かれ、症状が改善されます。

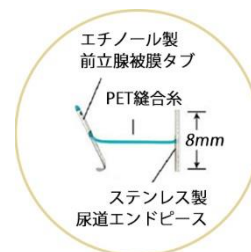
治療の機器

デリバリーシステムにはインプラント1個が装填されており、ひとりの患者さんに対して約4個のインプラントを留置します※1。

システムによる治療は、閉塞した尿道を再拡大することにより、迅速で信頼性の高い症状の緩和を提供します。 ※1. Roehrborn, J Urology 2013 LIFT Study



デリバリーハンドル



インプラント

治療をお受けになる患者さんへ

ウロリフトは心臓疾患、肺疾患、血液をさらさらにする薬（抗凝固薬・抗血小板）を内服している患者さん、高齢で体力が低下している患者さん、術後合併症を発症するリスクが高い患者さんにも行うことができます。今まで手術を諦めていた患者さんにとっても、治療の選択肢を広げる新たな方法です。

気になる症状がある患者さんは、まず「かかりつけ医（診療所・クリニック）」に受診いただき、紹介状をお持ちになり泌尿器科に受診していただくことになります。

また、当院での手術などが終了し病状が安定した場合は、紹介いただいた「かかりつけ医」に紹介させていただきます。

治療をお受けするに当たり、医療機関から、FAXによる予約をお受けしております。手順は次のとおりです。

[医療関係者の皆様へ](#)（クリックすると地域医療連携室FAX予約のページにジャンプ）

当院は、地域医療支援病院として、かかりつけ医と連携し、患者さんの抱える病気や症状によってそれぞれの専門分野や特色を活かした医療を提供します。



治療について

特殊な医療機器を用いて前立腺を 約4カ所止め、 尿道を拡げる手術です。

所要時間は1時間程度 ※2 を予定しています。

排尿がご自身でできることが確認できましたら、退院になります。

入院期間は 3泊4日程度 ※2 の予定です。

※2. 患者さんによって異なる場合があります。

治療費

2022年4月1日から医療保険が適用となりました。 また高額療養費制度が利用可能です。

画像・素材提供：テレフレックスメディカルジャパン株式会社 ©2022Teleflex Incorporated. 無断複写・転載を禁じます。